

■ 編集委員

池淵 研二 (委員長)

赤塚 俊隆 伊崎 誠一 小山 勇 仁科 正実 野村 正彦 町田 早苗 松下 祥
御手洗哲也 渡辺 修一 (五十音順)

■ 編集後記

新型インフルエンザのため5月には大きな国内学会がキャンセルされました。国際学会に参加しても良いかどうか、随分皆さまの心を悩ませたことと思います。季節が変わるにつれ冬の季節まではこの新型インフルエンザの猛威は一旦収束するかと予想されていましたが、この雨の多い夏の季節を迎えても学内学外がまだまだ揺れ動いています。医療スタッフにも学生にも散発的に感染者が出ている状況です。東医体への参加をキャンセルせざるを得なくなった体育系クラブも出たようです。大阪の病院では院内感染例も報告されました。

私の勤務している中央検査部では新型インフルエンザの院内PCR検査に対応できるよう急ピッチで体制整備をすることになりました。平日であれば1日に9検体まで迅速対応ができる準備が整い、8月に入ってもまだ検体が提出されている状況です。

医療の世界において感染症との戦いは常にトップニュースであることを実感させられます。VRE、MDRPなど薬剤耐性菌や再興感染症としての結核への対応が求められ、院内感染対策および医療安全部門の重要性が強く認識されています。各種ウイルスに対して高感度な抗原検査の開発が求められ、遺伝子増幅検査が研究室ではなく第一線の医療現場でもリアルタイムにできることが求められ、求められる課題は増える一方です。

感染症との戦いに真摯に取り組み守りの医療を固める一方で、ES細胞やiPS細胞を用いた再生医療の話題も沸騰し、医学の世界では研究すべきテーマが沸きあがっています。そのような時期に31編の学内グラント最終報告書を含め埼玉医科大学の研究面でのアクティビティを披露できる本編が発行できたこと、編集に携わったものの一人として嬉しく感じています。

(池淵研二)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第36巻 第1号

編集責任者

池淵 研二

平成21年8月25日 印刷

平成21年9月1日 発行

発行所

埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話 049(276)2102(直通) FAX 049(276)1964 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制作

株式会社アテネデザイン

東京都港区三田 1-11-19 小宮ビル 2階 電話 03(3456)5741(代) <http://www.atene.co.jp>